

コロナ禍での学校再開となった6月初日の朝、元気な様子で子ども達が全員登校してきました。まずはホッとしたところですが、「新しい生活様式」での学校生活の始まりです。

自主登校の期間に、ある程度は実施してきているものの、実際に始めてみると、児童の意識を簡単には変えられないものがあります。それは、友だちとの距離です。これまで兄弟のように過ごしてきた友だちと、一定の距離を置きながら行動することは難しいようで、気づけば肩を寄せ合って歩いている姿を見かけます。学校全体で「大切に思うからこそ、今は離れよう」「見た目じゃなくて、心でつながっているよ」を合い言葉にして、根気強く新しい生活様式の定着を図っていかねばなりません。



今年度の神石小学校は、教育活動の重点を『「心通い合う」プロジェクト』とネーミングして、学力の向上（知）・豊かな心の育成（徳）・気力と体力の育成（体）の取組をそれぞれ進めてきています。6月から再スタートとなりましたが、コロナ禍だからこそ、子ども同士や学校と家庭・地域とのつながりをより一層温かく強いものにしていかねばならない今年度の取組を、皆様の力を結集して推進していきたいと考えています。

これからも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

校長 爲平 祐嗣